



ふくさぽわっと!

☆緑日コーナー
綿菓子、射的
など

わくわくフェスタ

日時 8月4日(日) 10:30~15:00

会場 シーモールホール

☆ハザードマップを
作ろう!

参加者には
クジ引きあり

* 市民活動団体と学生による、ものづくりワークショップや販売など!

☆ワークショップなど(無料)



木工工作、とびだす花カード、貝殻ブローチ、広告紙で楽しいコマ作り、お花の万華鏡、五行歌づくり、手足のマッサージ、ビブリオバトル体験 など



☆販売など(有料)

本やグッズ販売、足の爪・角質ケア、コーヒーやワッフル、クッキー、ふぐもなかアイス など



学校では出会えない 人生の考え方

—関連付ける—



『地域の問題解決』に関する取組に沿って当事者意識を持った人材の育成についての研修



講師：黒川 康生氏

【現職】

- ・(株)丸久 人事能力開発部指導役
- ・やまぐち県民活動支援センター人材育成担当
- ・山口県コミュニティスクールサポーター
- ・防府商工会議所知財戦略センター委員



日時 9月7日(土)
午前10:00~12:00
(受付開始 午前9:30~)

受講料
無料

会場 しものせき市民活動センター 大会議室
対象 市民活動団体および市民活動に興味のある方
定員 20名(要申込・先着順)
申込 8月31日(土)まで(定員になり次第締切)
※ 「しものせき市民活動センター」へ
電話でお申込みください。

【休館日のお知らせ】

9月23日(月)は、定期清掃のため終日休館とさせていただきます。ご利用の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

しものせき市民活動センター ふくふくサポートフラップ

下関市竹崎町四丁目4番2号 ヴェルタワー下関2階

URL <https://fukusapo.net> / MAIL info@fukusapo.net
TEL 083-231-1826 FAX 083-232-1881



しものせき市民活動センターの登録団体である「ちびっこアート labo」が、第18回女性いきいき大賞 コープやまぐち組合員賞を受賞されました。おめでとうございます！

ちびっこアート labo は、アートを通して母親同士・母と子・子ども同士が交流し、子どもたちの心身ともに調和のとれた発達を目指して活動されています。

子どもの絵画活動では、月に1回とても大きな紙に絵の具を使って子どもたちが自由に描きます。保護者は口出しをしないことが大前提で、子どものサポートに徹します。

家庭では自由に絵の具を使わせられないことが多く、みんなで一緒にできる活動は、親にとっても貴重な活動となっています。(右の写真)



【受賞コメント】

この度は輝かしい賞を頂戴し、光栄に思います。発足以来、子育て中のママ同士、力を合わせて活動してきました。

この活動が未就園児の頭足人をはじめとした「絵のはじまりの絵」をたくさんの人に知っていただけるきっかけになれば嬉しいです。今後も子どもたちの絵を知っていただき、子どもたちが絵でたくさんの表現をしていく手助けをしていただけたらと思っています。

市民活動・まちづくり活動団体・企業・学生のための

「協働の取り組みの手法講座」を開催しました!!



5月19日(日)に、SDGs ネットワークおかやま会長であり、一般社団法人北長瀬エリアマネジメント代表理事である石原達也氏を講師に迎え、「多様な目線で地域課題と解決のためのアクションを考える」と題して「協働の取り組みの手法」について学びました。下関の問題や課題を挙げていき、それをどのように解決したらよいか、また何処(誰)に協力を訴えたらよいか等、自ら考えることのできる興味深い講座となりました。

(アンケートより)

- ・下関市での地域課題についてもっと知っていくべきと学んだので様々な活動に参加していこうと思った。
- ・実際に自分自身の身近な課題を考える事がなかったことに気づいた。



登録団体さん
による

リレーコラム

「劇団 Zing♪Zing」

代表 福田えい子氏

vol.26



舞台上で輝け！子供達！という思いから、2007年に劇団 Zing♪Zing を旗揚げしました。ミュージカルを通して“命”“友情”“思いやり”の大切さを訴え、総合芸術であるミュージカルの素晴らしさと、心を動かすパワーを広く伝え、地域芸術文化の発展に寄与する事を目的として活動しています。毎年12月に開催する定期公演は、今年で17回を迎え、仲間と切磋琢磨しながら創り上げる感動はかけがえのない大きな宝物になると実感しています。



これまでに、熊本や広島での地方公演や、韓国の釜山、蔚山では韓国語で上演するなどミュージカルを通して貴重な経験をさせていただきました。

今年も昨年に引き続き、5月に釜山で開催されたグローバルギャザリングに出演させていただきました。



世界中のエンタメが集結する中、子供達は国際文化交流という素晴らしい体験をすることで、更に大きな心の成長を遂げています。これからも支えて下さる方々への感謝の気持ちを忘れずに、子供達と一緒にミュージカルの楽しさを沢山の方に伝えていきたいと思っています。

☆次号へのバトン☆



「下関空襲・終戦展実行委員会」

代表 井手久美子氏

「劇団 Zing♪Zing」
福田代表のご紹介

戦争の悲惨さとその時代を生き抜いた市民の歴史を語り継ぐと共に、平和への道標を伝える活動をされています。今年も8/12～8/20に「下関空襲・終戦展」が下関市市民活動センターで開催されます。

次回の掲載 お楽しみに！



プロボノ活用セミナーの開催



プロボノってなに？



プロボノとは？ 「公共善のために」を意味するラテン語 Pro（のために） Bono（良いこと） Publico（公共性）を略した言葉です。

ボランティアというと“労働力の提供”というのが一般的な認識ですが、プロボノは仕事上身につけた専門的な知識や技術を活かした“知の提供”という新しいカタチのボランティアです。問題、悩みを抱えている活動団体に学んできた自身の専門性（スキル）を活かし、一緒に問題解決をしていこうという仕組みです。



PRO BONO



そのプロボノ活用セミナーが、5月26日（日）しものせき市民活動センター多目的ホールで行われました。当日は、NPO 法人やまぐち県民ネット21から船崎美智子氏、プロボノ事務局で活動中の波多江健一郎氏を講師として迎え、市民活動10団体、ボランティアギルド4名、企業1名、個人2名に下関市まちづくり政策課からの4名を加え、総勢23名がセミナーに参加しました。

前半はプロボノの概要説明、休憩をはさんで全員が自己紹介を行い後半は、プロボノの支援を受けたい団体と、プロボノワーカーとして団体に貢献したい個人・団体に分かれて担当者から説明を受けました。

プロボノ希望団体はワークショップを行い、諸問題を分野別に整理し問題点を抽出し、プロボノワーカー希望者は個々に担当者と話し、貢献できる分野の確認を行いました。

6月から始まる県内の募集に先駆け、下関で開催されたセミナー、ここから団体とワーカーのマッチングが行われ、新しいボランティアのカタチ「プロボノ」がスタートします。

しものせき市民活動センターは市民活動団体の課題解決に正面から向かい合いたいと考えています。



◆◆◆「ふくさぽねっと！9月号」の同封チラシの締め切りは 8月15日（木） です ◆◆◆